

2016年3月期 第3四半期連結決算報告 (2015年4月1日～2015年12月31日)

- 第3四半期の無形資産償却前営業利益は、第2四半期から改善
- ディ스플레이は厳しい市場環境の影響を受ける
- 欧州では改善の兆しが見られる
- 日本の業績は改善
- 北米と東南アジアは、好調を持続
- 南米は市場状況が低調に推移
- 税引前損益・当期損益・親会社の所有者に帰属する当期損益について、業績予想を開示

第3四半期の無形資産償却前営業利益は、第2四半期から改善

- グループ売上は、4,796億円 で前年比3%増収（前年同期4,666億円）
- 無形資産償却前営業利益は166億円（前年同期167億円）
- 建築用ガラス事業は、売上2,014億円（前年同期1,898億円）、営業利益167億円（前年同期101億円）
- 自動車用ガラス事業は、売上2,397億円（前年同期2,320億円）、営業利益50億円（前年同期50億円）
- 高機能ガラス事業は、売上378億円（前年同期439億円）、営業利益3億円（前年同期41億円）

ディスプレイは厳しい市場環境の影響を受ける

- 売上高及び営業利益は、厳しい市場環境と当社グループの製造拠点での生産の不調により減少

欧州では改善の兆しが見られる

- 一部の地域で、建築用ガラス市場に改善の兆し
- 西欧の自動車用ガラス市場では回復が見られる

日本の業績は改善

- 建築用ガラス事業は、業績が改善
- 乗用車販売台数は減少しているが、当社は販売数量を維持

北米と東南アジアは、好調を持続

- 北米の建築用ガラス市場の好調が継続
- 東南アジアの建築用ガラス事業は、堅調な需要の影響を享受

南米は市場状況が低調に推移

- 建築用ガラス事業は、アルゼンチンのフロート窯の定修により減益
- 乗用車販売台数が大きく減少

税引前損益・当期損益・親会社の所有者に帰属する当期損益について、業績予想を開示

- 無形資産償却前営業利益は、2015年10月29日に公表した予想から変更なし
- 中国のジョイント・ベンチャー及び関連会社を取り巻く厳しい市場環境
- 一部の地域で法人所得税費用が増加する見込み

<2016年3月期第3四半期連結決算説明資料より抜粋>

連結損益計算書



(億円)	16年3月期 4月-12月期	15年3月期 4月-12月期
売上高	4,796	4,666
無形資産償却前営業利益	166	167
償却費*	(60)	(63)
営業利益	106	104
個別開示項目	(32)	107
金融費用(純額)	(137)	(134)
持分法による投資利益/(損失)	(10)	(4)
税引前利益/(損失)	(73)	73
当期利益/(損失)	(123)	54
親会社の所有者に帰属する当期利益/(損失)	(141)	47
EBITDA	419	412

* ビルキントン買収に伴って発生した無形資産の償却

2016年1月29日 | 2016年3月期第3四半期決算報告

2016年3月期連結業績予想



(億円)	当初 予想	前回 予想	今回 修正予想
売上高	6,550	6,500	6,500
営業利益	240	190	190
税引前利益	80	-	10
当期利益/(損失)	35	-	(55)
親会社の所有者に帰属する当期利益/(損失)	20	-	(75)

2016年1月29日 | 2016年3月期第3四半期決算報告